

令和7年度第2回野田市学校給食運営委員会次第

日時：令和8年2月7日（土）

午前：10時00分から

場所：中央公民館1階講堂

1 開 会

2 教育長挨拶

3 議 題

協議事項 令和8年度野田市学校給食費の適正な在り方について

4 そ の 他

(1) 令和8年度野田市学校給食運営委員会の開催スケジュール（案）について

(2) 新学校給食センターの整備について

5 閉 会

第2回野田市学校給食運営委員会資料

議 題

令和8年度 野田市学校給食費の適正な在り方について

国は、昨年12月にいわゆる給食無償化についての方向性を示しましたが、示された内容は小学校・中学校給食の完全無償化ではなく、保護者が負担している給食費の負担軽減策でありました。軽減額を超える部分については、引き続き保護者から徴収することができるかとされているほか、対象が小学校のみで中学校については支援されないことに加え、開始時期も示されないなど、明らかに不十分な内容であると捉えております。

これまで野田市では、学校給食法によって食材料費が保護者負担とされていることから、給食費の無償化は国が検討すべきであると申し上げてまいりました。また、給食費の無償化は、義務教育に係る負担軽減の観点で行われるべきものであることから、地方負担が生じるような財政支援ではなく、国の責任において、必要な額を全額国費で確実に確保すべきであるとも申し上げてまいりました。

その一方で、市では、国の対応を待たずに、市独自の保護者負担軽減策を実施してまいりました。野田産米購入費用の全額公費負担に加え、物価高騰を受け改定した学校給食費の増額分の全額公費負担、第3子以降の学校給食費無償化、就学援助の範囲拡大の継続など、子育て世帯の負担軽減策を継続して実施しています。

同時に、各校では、栄養士が食材の選定や献立の作成に工夫を凝らし、限られた予算の中で栄養価の確保に努めながら、安全安心で美味しい給食を子どもたちに提供しております。

しかしながら、物価高騰は、上昇幅にやや落ち着きが見られるものの、依然として続くと想定されることから、現在の1食単価では、今後も継続してこれまでと同じ水準で給食を提供しつづけることは困難であると考えております。

つきましては、令和8年度の給食費について、国からの補助を最大限活用するとともに、市独自の野田産米購入費用の全額補助等を継続しつつ、安全安心で美味しい給食を提供していくために必要となる財源や、その中でお願いせざるを得ない保護者負担につきましてご説明させていただきます。

御理解、御協力をいただけますようお願いいたします。

1. 国が示した学校給食費の抜本的な負担軽減策について

国は、昨年(2022年)の12月にいわゆる学校給食費の無償化についての方向性を示しました。内容については、次のとおりです。

・学校給食費の抜本的な負担軽減(いわゆる給食無償化) ※国の資料より

子育て支援に取り組む自治体を支援する観点から、学校給食費の抜本的負担軽減のための「給食費負担軽減交付金」を創設し、都道府県に対し交付する。

(個人ではなく、自治体向けの支援策。)

小学校(公立)の学校給食に係る食材費を支援(国 1/2、都道府県 1/2)。基準額は、月 5,200 円。

※基準額の考え方：令和5年度学校給食費調査の全国平均 4,688 円に、近年の物価動向を加味して設定。



※基準額を超える部分については、学校給食法に基づき、引き続き保護者から給食費を徴収することが可能。

※中学校給食について、小中学校の給食実施状況の違い等も含めた課題の整理を行った上で検討。

国から示された内容は給食費の完全無償化ではありません。

学校給食法も改正されないため「給食費は保護者負担」との原則は変わらず、あくまで、保護者が負担している給食費の負担軽減策となっています。

基準額を超える部分の扱いについても、自治体の判断に委ねられているため、法律を根拠としていながら、負担するべき者が不明瞭となっています。

なおかつ、軽減されるのは小学校のみで、中学校については、検討に留まっており、明らかに不十分な内容であると捉えております。

2. これまでの給食費の経緯

【令和5年度までの給食費】

野田市の学校給食費は、平成27年度以降改定を行わず、以下の金額を据え置いてきました。

	1食当たりの単価	月額給食費
幼稚園	253円	4,240円
小学校	253円	4,240円
中学校	304円	5,090円

【令和6年度の給食費改定】

しかしながら、近年の物価高騰等による大幅な食材料費の価格上昇等を受け、令和5年度に4回開催した学校給食運営委員会において改定の必要性等を委員の皆様へご説明し、令和6年度からの改定について委員の皆様のご了承をいただいた上で、以下のとおり給食費を改定いたしました（幼稚園は、学校給食の提供量（ごはん、おかず等の量）が小学生と比べ少ないことから、据え置きとさせていただきました。）。

【令和6年度の給食費】

	1食当たりの単価 ()内は増額分	月額給食費 ()内は増額分	月額保護者負担額 ()内は増額分
幼稚園	253円 (0円)	4,240円 (0円)	4,240円 (0円)
小学校	278円 (+25円)	4,650円 (+410円)	4,240円 (0円)
中学校	334円 (+30円)	5,590円 (+500円)	5,090円 (0円)

【令和6年度学校給食費改定に伴う保護者負担軽減策】

改定と同時に、令和6年度については学校給食費の改定に伴う増額分（幼稚園を除く）を市が全額負担するとともに、令和6年度中に更なる物価高騰により食材料費が高騰した場合にも新たに保護者負担を求めないという保護者負担軽減策を実施いたしました。

この結果、保護者負担額は、5年度までと同額に据え置かれました。

【令和7年度の給食費】

さらに、令和7年度においても、引き続き国の重点支援地方交付金を活用し、食材料費の更なる価格高騰分を市が全額公費で負担することで、価格改定は行わずに保護者負担を据え置いてまいりました。

令和6年度の改定により、小学校の給食費は月額4,650円、中学校の給食費は月額5,590円に改定されましたが、改定に伴う増額分である小学校410円と中学校500円を市が全額負担することで、保護者負担は5年度から変更せずに据え置かれました。

このように、令和6年度以降、時限的な措置として国の交付金を活用し、保護者負担を据え置いてきた経緯があります。

【令和7年度の野田市学校給食費】※金額は1月現在の予算額です。

令和7年度の学校給食費に関する市の予算額は、7億4,558万4千円です。保護者からの給食費収入、国の臨時交付金及び国県の補助金等を除いた市の補助額は、1億1,109万1千円とかなり大きな額になっています。

【歳出】

7億4,558万4千円

7億4,558万4千円	
賄材料費 6億4,661万4千円	野田産米賄材料費 9,897万円

【歳入】

保護者からの給食費収入 4億5,389万4千円	不足額2億9,169万円
----------------------------	--------------

○不足する2億9,169万円は、国や県の補助金等を活用するとともに市が補助します。

【内訳】

- ・国の交付金 1億4,994万8千円
- ・県の補助金 3,065万1千円
- ・市の補助金 1億1,109万1千円（市の補助金には、野田産米賄材料費の他、第3子無償化、就学援助補助を含みます。）

3. 野田市の取組

① 米代全額公費負担

野田市では、独自の施策として、子どもたちの健やかな成長と豊かな食育を実現するため、学校給食における米代を全額市が公費負担しています。この施策には、米代だけでも令和7年度で9,897万円、令和8年度では、米の価格がこれ以上値上がりしないとしても1億1,370万円の予算を確保する必要があり、保護者の経済的負担を軽減するとともに、子どもたちに安心・安全な給食を提供してまいります。

この取組は、単なる経済的支援にとどまりません。学校給食では野田市で生産された黒酢米と江川米を使用しています。黒酢米は、稲に玄米黒酢を与えるだけでなく、化学肥料や農薬（化学農薬）を一般的な栽培基準の半分に抑え、県の専門職員の検査を受けた後、減農薬減化学肥料による特別栽培米である「ちばエコ農産物」として認証されています。江川米も、有機肥料・減農薬で生産された米です。こうした安全性の確保された地元産米を使用することが、安心・安全な学校給食の提供を支える重要な取組の一つとなっております。そして、地元産米を学校給食で使用することで、地産地消の推進と子どもたちの郷土意識の育成にもつながっており、毎日の給食を通じて、子どもたちは地元で育てられた米を味わい、生産者への感謝の気持ちや地域への愛着を育んでいます。

年間1億円を超える財政支援を継続することは決して容易なことではありませんが、学校給食で野田産米を使用することは、地元農家を支え、子どもたちが地域の食文化への理解を深める機会にもなっています。野田市は、保護者の経済的負担の軽減、子どもたちの健やかな成長、そして郷土愛の育成と地域社会の活性化を目指し、今後も学校給食の充実に取り組んでまいります。

② 賄材料費（食材料費）の執行状況と栄養価管理の取組

○令和7年度月別、学校別賄材料費（食材料費）の執行状況の分析結果について

令和7年4月から12月までの学校別、月別の賄材料費（食材料費）の1食当たりの単価は次の表のとおりとなります。

年間で予算に収まるよう運用し、現在まで基準を大きく上回った学校は見られず順調に執行しております。

令和7年度月別、学校別賄材料費の執行状況（学校別、月別）

【小学校】

学校名等	4月	5月	6月	7月	9月	10月	11月	12月	(4-12月) 平均①	基準②	差額 ③(①-②)
東部小	301.02	287.46	287.20	284.26	284.17	285.88	288.33	286.35	288.08	288.00	0.08
南部小	290.54	286.19	283.16	288.08	285.41	286.69	281.48	285.49	285.88	288.00	▲2.12
北部小	274.86	279.91	278.28	275.83	292.02	283.96	285.97	292.20	282.88	288.00	▲5.12
福一小	286.27	286.70	287.24	285.05	288.35	293.33	286.69	284.94	287.32	288.00	▲0.68
福二小	281.35	284.84	289.29	272.32	282.50	289.78	256.50	297.37	281.74	288.00	▲6.26
川間小	265.76	268.00	265.60	286.59	294.30	290.06	284.22	294.16	281.09	288.00	▲6.91
山崎小	291.23	277.31	265.54	279.58	287.22	282.96	297.24	290.39	283.93	288.00	▲4.07
岩木小	291.77	286.94	280.25	283.39	290.56	294.67	295.99	292.11	289.46	288.00	1.46
尾崎小	286.65	284.70	284.82	285.97	287.30	295.17	295.65	296.62	289.61	288.00	1.61

学校名等	4月	5月	6月	7月	9月	10月	11月	12月	(4-12月) 平均①	基準②	差額 ③(①-②)
七光台小	273.33	285.40	278.44	286.67	282.27	290.72	275.20	284.88	282.11	288.00	▲5.89
二ツ塚小	279.28	282.14	283.50	276.78	287.56	287.27	287.95	287.12	283.95	288.00	▲4.05
みずき小	315.83	274.33	257.79	259.06	275.72	293.59	311.50	283.79	283.95	288.00	▲4.05
野田センター	290.92	263.19	277.22	272.66	291.92	283.89	292.09	294.94	283.34	288.00	▲4.66
関宿センター	282.90	284.44	291.06	284.31	285.70	302.46	286.78	291.89	288.69	288.00	0.69
平均	286.55	280.83	279.24	280.04	286.79	290.03	287.54	290.16	285.15	288.00	▲2.85

【中学校】

学校名等	4月	5月	6月	7月	9月	10月	11月	12月	(4-12月) 平均①	基準②	差額 ③(①-②)
東部中	359.55	343.36	343.05	339.53	339.42	341.47	344.39	342.03	344.10	344.00	0.10
南部中	327.91	335.04	336.85	338.42	342.53	343.71	349.07	338.42	338.99	344.00	▲5.01
北部中	344.89	343.87	342.63	343.96	344.69	346.84	341.30	350.81	344.87	344.00	0.87
福田中	335.35	341.62	343.11	342.97	341.16	347.47	346.36	352.37	343.80	344.00	▲0.20
川間中	340.42	341.04	338.75	342.14	343.98	342.37	346.40	351.34	343.31	344.00	▲0.69
岩名中	336.44	340.66	342.92	343.36	350.21	337.00	343.75	353.23	343.45	344.00	▲0.55
野田センター	347.13	314.07	330.69	325.23	348.20	338.57	348.38	351.80	338.00	344.00	▲6.00
関宿センター	337.95	339.77	347.63	339.62	341.28	361.14	342.55	348.60	344.82	344.00	0.82
平均	341.19	337.43	340.70	339.40	343.93	344.82	345.28	348.58	342.67	344.00	▲1.33

【幼稚園】

学校名等	4月	5月	6月	7月	9月	10月	11月	12月	(4-12月) 平均①	基準②	差額 ③(①-②)
野田	265.79	240.47	253.22	249.03	266.61	259.24	266.76	291.65	261.59	263.00	▲1.41
関宿	258.39	259.77	265.77	259.66	260.92	276.07	261.90	266.51	263.62	263.00	0.62
平均	262.09	250.12	259.49	254.34	263.76	267.65	264.33	279.08	262.60	263.00	▲0.39

※1 賄材料費（食材料費）には、野田産米の補助額は含まない。

※2 小学校 253 円、中学校 304 円を超えた分は物価高騰対策（公費負担）で対応。

○栄養価の提供状況について

野田市では、文部科学省から出されている学校給食摂取基準を踏まえ、さらに各学校の在籍児童生徒の身体状況を考慮し、栄養バランスの取れた献立を作成に努めています。

保健所による巡回指導では、学校給食摂取基準の90%以上充たせているかという視点で評価を受けますが、充実した給食の提供を目指し、野田市では100%を超える提供となるよう努めています。

【小学校】

	エネルギー	たんぱく質	脂質	カルシウム	鉄
基準値	650	21.1~32.5	14.4~21.6	350	3.0
7年度	629 (97%)	23.2	19.8	366 (105%)	3.0 (100%)
6年度	644 (99%)	25.7	21.2	400 (114%)	3.1 (104%)
5年度	645 (99%)	26.3	21.3	380 (109%)	3.2 (106%)
4年度	647 (99%)	26.3	21.4	383 (109%)	3.2 (107%)

【中学校】

	エネルギー	たんぱく質	脂質	カルシウム	鉄
基準値	830	27.0~41.5	20~30	450	4.5
7年度	810 (98%)	29.5	27.4	421 (94%)	4.2 (94%)
6年度	826 (100%)	32.2	26.1	446 (99%)	4.5 (100%)
5年度	832 (100%)	33.0	26.5	457 (102%)	4.7 (104%)
4年度	831 (100%)	33.1	26.5	458 (102%)	4.7 (104%)

令和7年度、小学校、中学校ともにエネルギーについて、中学校ではカルシウムと鉄分について基準を100%充たせていない状況となっています。また、たんぱく質は基準内に収まっているものの、令和4~6年度の提供量からは低下しており、基準内であるものの、低値となっています。

各学校及びセンターの栄養士は、物価高騰が続く中、予算の範囲内で、できるだけ基準値に近づけるよう工夫を重ね、給食提供を実施しております。

○他市と比べた給食提供状況について

近隣市の給食提供状況についても聞き取りを行いました。どの市も学校給食摂取基準に沿った給食の提供を行っているものの、基準を充たすことは大変難しく、保健所巡回指導の視点となる90%以上を目安とし、給食の提供を実施しています。

野田市では、毎月各校及びセンターでの賄材料費の執行状況と合わせ、栄養価の提供状況を取りまとめ、物価高騰が続く中で栄養価の提供状況が著しく低下していく傾向にないかを確認しています。他市では同等の頻度や内容での確認作業はされていないようです。物価が安定しない状況の中で、適切な給食提供が大きな課題となっています。

4. 令和8年度の学校給食費について

野田市では、子どもたちに安全・安心で美味しい給食を提供するため、栄養士が食材の選定や献立の作成に工夫を凝らし、限られた予算の中で栄養価の確保に努めてまいりました。

しかしながら、近年の物価高騰は、上昇幅にやや落ち着きが見られるものの、依然として続くと想定されております。現在の給食費では、今後も継続してこれまでと同じ水準で給食を提供し続けることが困難な状況となっております。

このため、令和8年度の給食費について、物価高騰に対応し、引き続き安全・安心で美味しい給食を子どもたちに提供していくために、給食費の見直しを行うこととなりました。

【令和8年度学校給食費保護者負担額（案）】

区分	令和7年度 月当たりの学校給食費 保護者負担額	令和8年度 月当たりの学校給食費 保護者負担額（7年度との比較）
幼稚園	4,240円	4,030円（▲210円）
小学校	4,240円	0円（▲4,240円）
中学校	5,090円	5,420円（+330円）

野田市では、物価高騰が続く中でも、子どもたちに栄養バランスの取れた安心・安全な給食を提供し続けるため、野田市が独自に実施する米代全額公費負担をはじめとした様々な取組を進めております。

幼稚園給食を提供するには一食単価296円、月額4,950円が必要となります。月額保護者負担4,240円をいただいても、710円不足する状況です。しかし、令和8年度は、市が野田産米の全額補助と交付金で負担し、保護者負担は4,030円にとどめ、月額保護者負担を210円減額いたします。

小学校給食を提供するには一食単価332円、月額5,550円が必要となります。国の負担軽減補助金5,200円を超過する部分については、国の方針では保護者から徴収することも可能とされています。しかしながら、野田市では野田産米の全額補助と国の交付金を活用し、超過分についても市が負担することで、保護者負担を0円といたします。

中学校給食を提供するには一食単価408円、月額6,830円がかかります。月額給食費5,590円をいただいても、1,240円不足する状況です。しかし、令和8年度は、市が野田産米の全額補助と交付金を増額し、市が1,410円負担することで対応いたします。今後の物価高騰を踏まえ、月額給食費5,590円は変更いたしません、市が公費

負担を増やすことで、保護者負担は5,420円にとどめます。現在の月額保護者負担5,090円から、月額330円の追加負担をお願いすることとなりますが、ご理解を賜りますようお願い申し上げます。

なお、令和8年度中に物価高騰が続いた場合にも、市の負担で対応してまいりますので、令和8年度中に保護者負担額は変更しません。

野田市では、栄養バランスの取れた献立作成など、金額では表せない価値ある給食を提供しております。子どもたちの健やかな成長を支える取組として、何卒ご理解とご協力を賜りますようお願い申し上げます。

また、市と教育委員会としましては、今回、国が法を改正せずに、これまでどおり給食費を保護者負担としている以上、中学校を含む義務教育期間における給食費の無償化は、国の責任で行われるべきであり、地方負担が生じるような財政支援ではなく、全額国費で実施するべきであると考えております。今後も、国や県に対して、国による給食費無償化について強く要望を続けてまいります。

その他

(1) 令和8年度野田市学校給食運営委員会の開催スケジュール（案）

第1回	令和8年7月下旬開催予定
第2回	令和8年10月下旬開催予定
第3回	令和9年1月中旬開催予定

※ 本スケジュール案は、変更になる場合がありますので、ご了承ください。

(2) 新学校給食センターの整備について

市内の給食施設の中でも特に老朽化が著しい学校給食センターを、他施設に先行して、令和5年度から整備を進め、令和8年9月からの運用開始を目標として、令和6年12月から令和8年度までの継続事業として進めています。

新たな学校給食センターは、既存センターで提供している約3,500食に加え、市内の単独調理校の給食施設更新時等における代替食の提供にも対応できるよう、5,000食規模の施設として整備を進めています。また、市内全校への米飯炊飯設備を新たに整備するとともに、保温機能に優れた容器の採用や、アレルギー対応食提供設備、空調設備等の整備も行います。

工事は、令和6年12月に着工しています。現在は、内装工事を進めているほか、電気機械設備では、配線及び配管類の施工を進めているなど順調に進捗しています。

【施設概要】

建設予定地：野田市鶴奉字宮前160番1

敷地面積：9,684.25 m²

最大食数：5,000食（米飯炊飯11,000食）

施設概要：ドライシステム、米飯炊飯設備、アレルギー食提供設備、空調設備等



令和7年12月23日撮影